

「転換社債市場における利便性向上等について」に対する

パブリック・コメント及び東証の考え方について

本件については、平成14年1月15日開催の取締役会において了承され、同日以後1月31日までの間においてパブリック・コメントを募集したところ、1件（証券会社）のコメントが寄せられました。

寄せられたコメントとそれに対する当取引所の考え方は以下のとおりです。

（コメント）

転換社債の呼値の単位について、5銭刻みではなく1銭刻みに変更する方が効率的ではないか。

システムの対応は同じである上に、再度の変更を行う必要が無くなる。値付き率の向上が図れる。

（当取引所の考え方）

呼値の刻みを1銭にした場合、注文値段が現在よりも大幅に分散することとなり、システム面において、ソフト的な対応はご指摘のとおり同じであるものの、ハードの容量の面ではなんらかの影響がある可能性が考えられます。

また、呼値の刻みを細かくすることについては、執行コストの低減等に寄与する一方で注文がいろいろな値段に分散し、一値段あたりの注文の厚みが減少することによる価格形成面等に対する影響が考えられることから、呼値の刻みを1銭にまで細かくするのではなく、5銭とすることといたします。

以上